

ハヤヨミ！ 看護政策 No.457

都道府県看護協会長 様
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部
2025年1月22日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

DPC/PDPS における令和6年能登半島 地震等を踏まえた対応など議論 — 中医協総会 —

公開可

◎DPC/PDPS における令和6年能登半島地震等を踏まえた対応など議論

中医協総会

12月25日に標記部会が開催され、主に①DPC/PDPS における令和6年能登半島地震等を踏まえた対応について②中間年改定の年に行う期中の診療報酬改定について議論された。①では、令和6年能登半島地震をはじめとする複数の災害で被災した病院等に対して、DPC/PDPS における医療機関別係数（機能評価係数Ⅱの診療実績に伴う指数）の算出において一定の配慮を行うことが承認された。②では、大臣折衝事項を踏まえて、3点の見直し案が示され、承認された。その内容は、入院時食事療養費について1食あたり20円引き上げ、令和6年度診療報酬改定で新設された歯科衛生士による指導や歯科技工士による連携に関する加算の引き上げ、選定療養の対象となる先発医薬品を選択しようとする患者に対して説明を行った場合の特定薬剤指導管理加算の引き上げの3つ。緊急に対応すべきものとして、期中改定を行うとの事務局の説明だったが、資料に示された案は中医協での議論を経ておらず、また期中改定が行われること自体かなり異例のことでもあり、支払い側からは「政府方針の前に中医協での検証・議論があるべき」との苦言が呈された。（執筆：木澤常任理事）

◎被用者保険の適用拡大及びいわゆる「年収の壁」への対応など議論

医療保険部会

12月26日に上記部会が開催され、①被用者保険の適用拡大及びいわゆる「年収の壁」への対応について②入院時の食費について議論された。①では、社会保障審議会年金部会において、企業規模要件、賃金要件、5人以上の個人事業所の非適用業種が撤廃されたことを評価する意見が相次いだ。ただし、今回の適用拡大で、多くの国保被保険者が被用者保険に移動することが想定されることから、国民健康保険の安定した財政運営のために支援を求める意見もあった。今後も引き続き、被用者保険のさらなる適用拡大について議論される予定が示されていることに関し、委員から見解を求められた保険課長は「国保の加入者自体が減るため、国保との関係は切り離せないも

＜お問合せ先＞ 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>

のとして検討を深めねばならない」と回答した。保険料割合の変更を認める特例の案については、保険者側から事務負担増や保険料への付け替え、企業間格差による人手不足の悪化について、診療側からは、医療機関間での職員異動による医療提供体制のゆがみなどを懸念する意見があった。②では、入院時食事療養費（1食あたり）20円の引き上げの説明があり、保険者、病院団体、経済団体それぞれから食材費などの高騰に伴い、引き上げはやむを得ないとする意見があった。（執筆：木澤常任理事）

◎行動制限に係る関係者からヒアリング

第4回精神保健医療福祉の今後の施策推進に関する検討会

1月15日に開催された上記検討会では、行動制限に係る関係者からのヒアリングが行われた。行動制限を経験した当事者は「自分の身体を動かさないため、全ての決定権は他者にあるという感覚になり、無力感を生じた」とし「医療者への不信感や、回復や退院は不可能なのだという思いになった」と語った。家族は「入院後17年を経過しても本人は当時のことを語らない。お前が入院してみろと一言を述べただけで、自尊心の傷つきが今も影響している」と語った。医療職に対しては、当事者と一緒に考える姿勢、トラウマインフォームドケアの実践、心の傷への寄り添い方が教育体系化されることなどを望む声があった。

構成員からは、今回のような当事者の体験談を聞く機会の重要性や、改めて身体拘束をゼロにするということを掲げて取り組まなければならないのではないかと意見が出た。松本常任理事は、身体拘束等の適正化の推進が図られているが、統計上、隔離・身体的拘束の件数が減っていない現状があり、実効性を持つ取り組みを推進するには、対象者像や課題を明らかにして、対策を講じるべきと発言した。他の構成員からも同様の意見が挙げられた。（執筆：松本常任理事）

「ハヤヨミ！看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。